

添付 1

平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

I 事業の状況

1. 第 6 回日本人会員公募

3 年ごとに行っている日本人会員の公募を実施した。78 名の応募に対し厳正なる選考審査の結果、平成 21 年 4 月 1 日付けにて 34 名の入会を決定した。

2. 外国人会員の状況

本年度中の外国人の入会数は 48 名あり、その総数は年度末で 203 名となった。この結果、当クラブの総会員数に占める外国人会員の割合は約 30%となった。尚、外国人会員の国別は 26 カ国となっている。

3. 国際交流の増進

当クラブ会員有志がニューヨーク市のウエストサイド・テニスクラブを訪問し、交歓試合を行った。来年度には逆に同クラブの有志が当クラブを訪問し国際交流を深める事になっており、「国際親善とスポーツ精神の増進」に沿った活動を積極的に行っている。

4. 皇室のご来臨

名誉会員であられる天皇・皇后両陛下には 4 月と 5 月の 2 回のご来俱を戴き、恒例による内外の会員とテニス並びに懇談を通じ親しくご交流を賜った。また皇太子殿下には 9 月に行われたクラブトーナメントにご参加され、力強いプレーをご披露された。

5. 建物再建引当資産の計上

将来のクラブハウス再建に備え、建物再建引当資産として 2 億 2 千万円迄を計上する事とした。その結果、内部留保水準が適正水準である 30%以下となった。

6. 空調システムのチラー交換工事

クラブハウスは竣工後 19 年が経過したため、昨年基本方針を作成し毎年計画的に補修工事を実施する事とした。その一環として、本年は既に耐用年数を超えている空調システムのチラーの交換工事を 1 千万円かけて実施した。

7. クラブトーナメント

クラブ選手権をはじめとする主なクラブトーナメントは、予定通り実施され多数の参加者を得た。

8. 公益事業活動

公益事業活動の一環としての港区少年少女テニス教室は、7 月 22 日から 3 セッション

を開催し、約 120 名の参加を得た。

9. 決算状況

20 年度は短期普通会員の入会者数、並びに長期普通会員の家族登録が当初の見込みよりも増えた事が主な要因となって、収入が予算よりも 8.1 百万円増収となった。一方、支出は予算に対して 6.8 百万円減少したため、減価償却前損益は 16.6 百万円の利益となり、予算に対して 14.9 百万円の増加となった。

(百万円)	平成 20 年度実績	平成 20 年度予算	予算対比
収入	234.6	226.5	8.1
支出 (減価償却を除く)	218.0	224.8	(6.8)
償却前損益	16.6	1.7	14.9
減価償却費	44.1	43.2	0.9
最終損益 (税引前)	(27.5)	(41.5)	14.0

10. 平成 21 年度予算概要

21 年度は 3 年毎に実施される日本人公募に因る入会金の増加があるため、収入は 273.7 百万円と前年よりも 39.1 百万円の増収を見込んでいる。一方、減価償却を除く支出を 240.8 百万円と予測し、この結果減価償却前損益は以下に示すように 32.9 百万円の利益となり、昨年と対比すると 16.3 百万円の増加見込みとなる。

(百万円)	平成 21 年度予算	平成 20 年度実績	増減
収入	273.7	234.6	39.1
支出 (減価償却を除く)	240.8	218.0	22.8
償却前損益	32.9	16.6	16.3
減価償却費	39.7	44.1	(4.4)
最終損益(税引前)	(6.8)	(27.5)	(20.7)

以上